

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.ferrotec.co.jp/">http://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について  
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

**FerroTec**

株式会社フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された  
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを  
使用しています。

第32期 決算報告

# BUSINESS REPORT

平成23年4月1日～平成24年3月31日  
証券コード：6890

代表取締役鼎談

## 成長軌道への回帰に向けて

特集 事業展開

## 収益基盤を支える 消耗品・部材の展開



**FerroTec**  
株式会社フェローテック

## 成長軌道への回帰に向けて

代表取締役副社長  
山村 丈

代表取締役社長  
山村 章

代表取締役副社長  
賀 賢 漢

### 当期は前半の好調から一転減速、 足もとでは各分野とも改善傾向

**山村社長**：当期の経営成績は上期と下期で対照的な結果となりました。

**賀副社長**：上期は太陽電池関連事業が牽引役となって大幅増収になりましたが、下期はエレクトロニクス産業、太陽電池産業の両市場で需要が大きく落ち込んで売上高が急減、通期では誠に遺憾ながら大幅な減益を余儀なくされました。

**山村副社長**：エレクトロニクス産業ではPCや薄型テレビなどに使用される電子部品や同製造装置などの投資意欲が後退したことが響きました。太陽電池産業では欧州市場の影響によって、上期までの急成長にブレーキがかかった格好です。

**賀副社長**：足もとの受注状況を見ていますと、依然、厳しい事業環境が続きますが、各分野ともおおむね市況は回復に向かいつつあるようです。今後は徐々に良くなっていくのではないのでしょうか。

“成長分野に軸足を置きつつも、  
事業環境の変化に即応できる体制  
が求められます”

### コスト対応による競争力強化と 消耗品・部材営業に注力

**山村社長**：事業環境がかつてないほど急速、かつ大きな振れ幅で変化しています。こういう時代には、成長分野に軸足を置きつつも、事業環境の変化に即応できる体制が求められます。

**山村副社長**：こうした市況の変化に強いのが、消耗品・交換部品です。太陽電池の生産に使う石英坩堝などの消耗品は、当期においても期を通じて底堅く推移しました。さらに部材コストや経費、在庫の削減、場合によっては人員削減なども実施し、グループの総力を挙げてコストダウンによる利益確保を実現しなければなりません。

**賀副社長**：低コスト化は商品の競争力強化にもつながります。シリコン結晶の生産を中国内陸部に移管するなど、引き続きコスト低減に努める考えです。

**山村社長**：一方、営業戦略面では、今後も中国市場



を筆頭に海外での営業強化をさらに進めます。韓国やロシアでの販路開拓、取扱製品の拡大にも取り組んでいます。

### 環境・エネルギー分野のグローバルな 拡大を捉え、成長性を確保

**山村社長**：当期は思わぬ市況の悪化に苦しめられましたが、環境・エネルギー分野の拡大という、今後の成長戦略に変わりはありません。

**賀副社長**：太陽電池関連については、当期は調整局面入りしたものの、趨勢として今後も急成長を続けることは間違いありません。中国を筆頭に世界各国でメガソーラー発電所の建設ラッシュが続いており、日本でも今後続々と建設が始まりそうです。



“環境・エネルギー市場は、  
中長期的にグローバルな規模で拡大、成長して  
います”

**山村副社長**：環境・エネルギー市場は、中長期的にグローバルな規模で拡大、成長しています。我々はこの成長機会を捉えるためにも、積極的な投資を継続し、機動的な運転資金の投入が欠かせません。こうした資金ニーズをバックアップするため、2月末には総額50億円の短期コミットメントラインの設定契約を締結しました。

**山村社長**：非常に有望な新製品、新事業も出てきましたね。

**賀副社長**：環境関連産業向けに、これまでに蓄積した加熱炉技術や加工装置技術を応用し、LED基板サファイヤ炉、LED基板研磨装置、LED蒸着装置などの開発に着手しています。サファイヤはLEDの材料として需要が急増しており、装置の製造販売を事業化していく方針です。

### 2012年度は、 成長軌道回帰へのシフトを本格化

**山村副社長**：「成長軌道回帰へのシフト」が12年度のテーマです。

**賀副社長**：足もとの受注状況を見ている、今後の市場動向を見据えても、事業環境は当年度で底を打つだろうと見ており、徐々に良くなっていくのではないのでしょうか。その一方、価格面では非常に厳しい競争となることが予想されます。

**山村社長**：高付加価値製品を出していかなければ競争には勝てません。

**賀副社長**：本年3月に上海で開かれた展示会「セミコンチャイナ」では、従来よりも効率的、低コストで運用できる当社の太陽電池用単結晶引上装置に高い関心が寄せられました。

**山村副社長**：こうした高付加価値製品で買換え需要



“これからも技術力による価値創出を通じて、  
持続的な企業成長を実現していきます”

を喚起するとともに、消耗品の販売と合わせて、現地シェアのさらなる拡大を目指します。

**山村社長**：12年度の業績見通しについては、それほど簡単に利益を計上できる環境ではなさそうです。今後の飛躍に向けた我慢の一年になると厳しく見えています。

### 株主のみなさまのご期待に応え 「第2の創業」による企業価値向上へ

**山村副社長**：当社は今、「第2の創業」としてさらなる高みを目指しています。そして、そこに到達するには、これから多くの課題を乗り越えねばなりません。

**山村社長**：既存事業をさらに鍛え上げると同時に、環境・エネルギー分野に続く、新たな成長ドライバーも育てなければなりません。人類共通の課題である医療や食糧などの分野に、当社の技術を生かす

可能性を探りたいと考えています。

**賀副社長**：時代の変化に合わせ、常に新たな価値を創造してきたのが当社の強みです。これからも技術力による価値創出を通じて、持続的な企業成長を実現していきます。

**山村社長**：おかげさまで当社は昨年、創業31年を迎えることができました。「第2の創業」では、より良いものを多くのお客様に提供するという製造業としての基本を大事にしながらも、新たな試みにも積極的に挑戦し、さらに企業価値を向上させてまいります。株主のみなさまには末永くご支援をいただけるよう心よりお願い申し上げます。

## 収益基盤を支える消耗品・部材の展開

太陽電池用シリコン結晶製造装置の消耗品である石英坩堝や、インゴットなど部材のニーズは、設備投資が減退する中でも根強いものがあります。フェローテックは安定した収益基盤の確立に向けて、消耗品・部材の拡販を強化していきます。

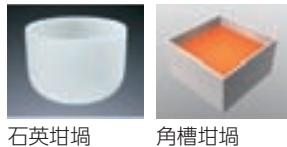
### ■ 当期の太陽電池関連事業における消耗品・部材の売上貢献

当期後半から太陽電池関連の設備投資が減退し、シリコン結晶製造装置の受注が減少する中で、石英坩堝などの消耗品は堅調に推移し、前期比33.7%増となる売上高4,887百万円を確保しました。

また、インゴットなどの部材は、太陽電池メーカーとの継続的な取引関係の構築につながる商材として、供給を維持しています。

#### ● 消耗品とは？

結晶製造装置の内部で、溶解したシリコンの受け皿として用いられます。石英坩堝は単結晶インゴット用、角槽坩堝は多結晶インゴット用の消耗品です。



石英坩堝 角槽坩堝

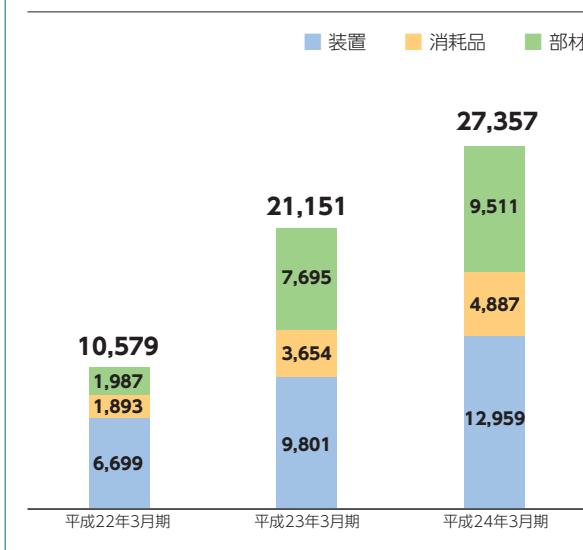
#### ● 部材とは？

結晶製造装置および消耗品だけでなく、そこから生まれるインゴットや、さらに切断加工したウェーハ、セルの生産も自社で手掛け、市場に供給しています。



単結晶インゴット 多結晶インゴット  
ウェーハ

太陽電池関連事業の売上高推移 (単位:百万円)



### ■ 消耗品・部材の安定供給を担う中国生産体制の増強

フェローテックでは、中国各地に消耗品および部材の生産拠点を設置し、競争力の高い製品を安定的に供給することで市場の需要に対応しています。

当期は、インゴットと石英坩堝の新工場が中国銀川市に完成し、生産体制を増強しました。

#### ● 中国における太陽電池関連製品の生産拠点

##### 銀川

寧夏銀和新能源科技有限公司

■ 部 材：単結晶・多結晶インゴット

寧夏富樂徳石英材料有限公司

■ 消耗品：石英坩堝



銀川工場

##### 上海

上海申和熱磁電子有限公司

■ 部 材：単結晶・多結晶ウェーハ

上海漢虹精密機械有限公司

■ 装 置：単結晶・多結晶製造装置

##### 杭州

杭州大和熱磁電子有限公司

■ 部 材：単結晶・多結晶セル

杭州先進石英材料有限公司

■ 消耗品：石英坩堝

杭州晶鑫科技有限公司

■ 消耗品：角槽坩堝

### ■ 今後の展開

今後、市場における競争激化が続く中で、消耗品については供給力の増強とともに国内外で販路を拡大し、トップシェアを目指します。

また、新たな展開として、高付加価値のインゴットやウェーハ、変換効率の高いセルの開発・量産化を手掛けていきます。

## 1 「セミコンチャイナ2012」出展報告 中国市場の需要回復に期待

国際半導体製造装置・材料展「セミコンチャイナ2012」が本年3月22日から3日間、中国上海市のSNIEC(上海新国際博覧中心)で開催されました。会場は、大勢の来場者による活気に包まれ、半導体関連市場の需要回復に対する期待の高まりが感じられました。

当社の出展ブースでは、リチャージ機能を付加した太陽電池用シリコン単結晶引上装置の新製品が来場者の強い関心を集め、従来よりも高効率・低コストで運用できる点が高く評価されていました。

## SEMICON® China2012



## 2 アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 日本代表に当社山村社長

新日本有限責任監査法人主催の2011年度「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパン」において、当社代表取締役社長の山村章が大賞を受賞し、日本代表の栄誉に輝きました。山村社長は、本年6月に開催される世界大会「ワールド・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」に臨みます。

### ● アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーとは？

新たな事業領域に挑戦する起業家の努力と功績を称える国際的な表彰制度です。①創造性・革新性、②優位性・成長性、③国際性などの審査基準により、優れた起業家を選出しています。



## 3 シンジケート方式による総額50億円の短期コミットメントラインを設定

当社は本年2月、三菱東京UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケート金融機関との間で、総額50億円のコミットメント期間付き短期借入契約を締結しました。

この資金調達は、今後の事業拡大に必要となる運

転資金につき、機動的かつ柔軟に対応することを目的としたものです。当社は、引き続き強固な財務基盤の構築を図り、企業経営の安定化を目指します。

## 4 真空シール生産を移管した千葉工場の現状

東日本大震災が発生した昨年3月11日、釜石事業所(岩手県釜石市)は地震と津波による甚大な被害を受けました。

釜石事業所の生産品目であった真空シールについては、昨年5月に千葉工場(千葉県匝瑳市)の敷地内に生産ラインを拡張し、順調に需要に対応しています。



千葉工場外観

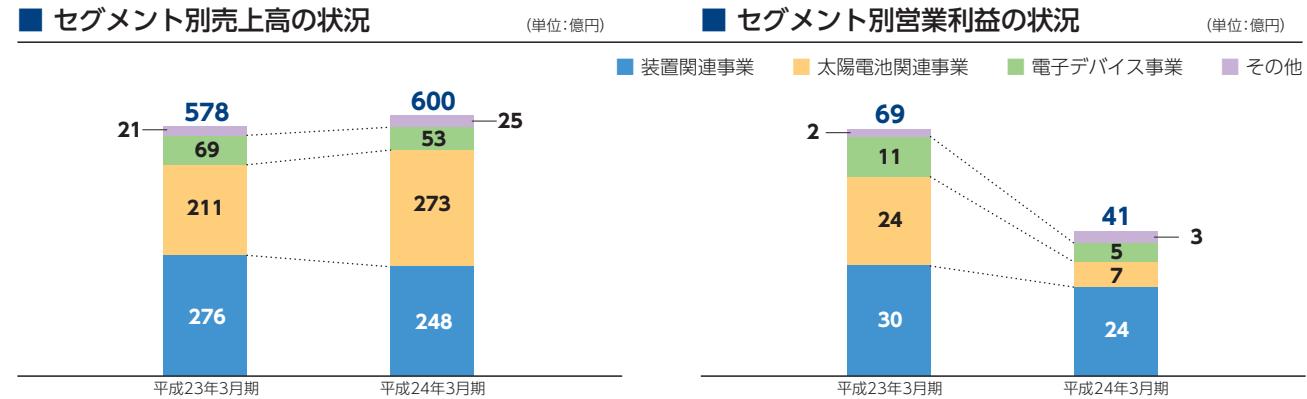


エントランス



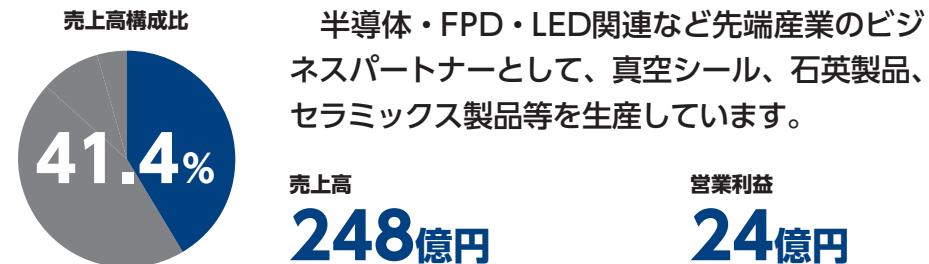
工場内

当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3事業を報告セグメントとしております。



※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。また、営業利益の合計は内部調整後の数値を記載いたしております。

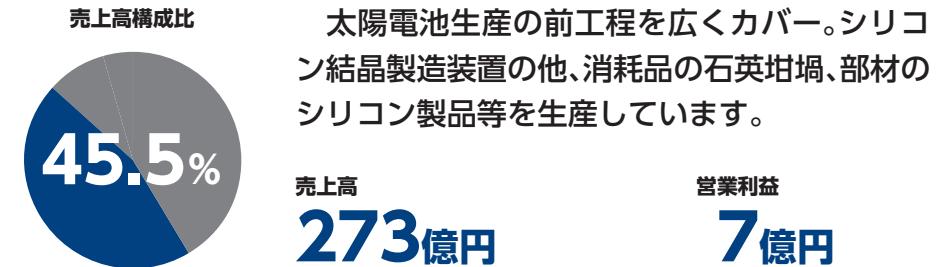
## 装置関連事業



各種製造装置に使用する真空シールは、主に台湾、韓国企業の半導体及び液晶パネル向け設備投資が一巡したため、年後半から需要が減少となりました。また、デバイスメーカーの装置稼働率も徐々に減速し、石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用する消耗品需要も同様に軟調に推移いたしました。



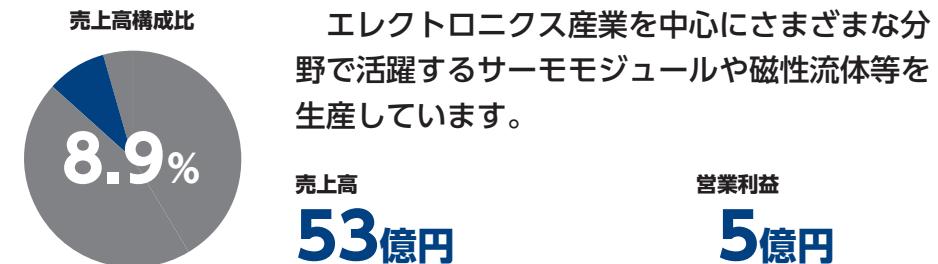
## 太陽電池関連事業



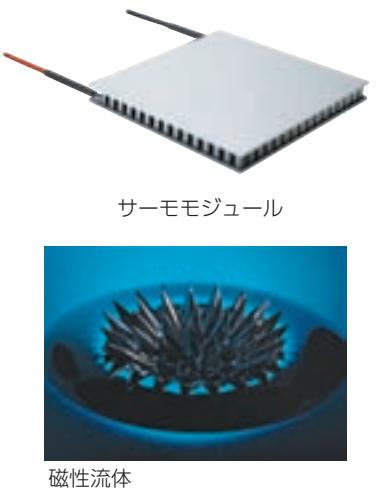
年初では、中国企業からシリコン結晶製造装置及び角切ソー装置の受注を順調に得ていましたが、太陽電池パネルの需給バランスが崩れたことから、同製造装置の受注が減少に転じました。太陽電池用シリコンは、太陽電池パネルの在庫消化による換金売りなどにより、価格下落の影響を受け計画を下回りました。消耗品である石英坩堝は、概ね堅調に推移し売上高は続伸しました。



## 電子デバイス事業



主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、顧客の在庫調整により減少となり、民生製品向けはエコポイントの終了、夏季の節電やタイの洪水などの影響により需要が減少となりました。医療用検査装置、光通信向けなどの高機能製品は計画のとおり推移しました。

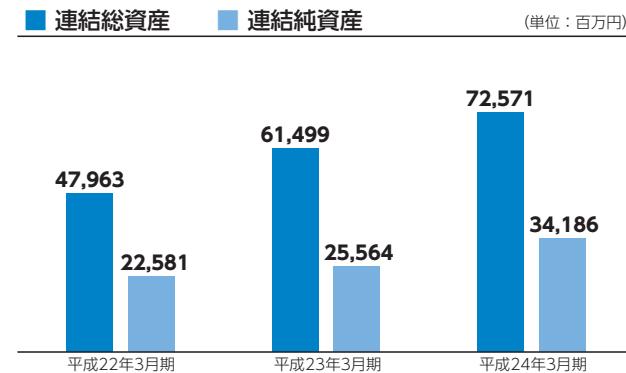


連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成24年3月31日現在	前期 平成23年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	41,330	36,133
固定資産	31,241	25,365
有形固定資産	25,397	19,204
無形固定資産	2,368	2,812
投資その他の資産	3,475	3,349
資産合計	72,571	61,499
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,592	25,848
固定負債	8,792	10,086
負債合計	38,384	35,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本	36,311	27,362
その他の包括利益累計額	△2,923	△2,701
少数株主持分	799	903
純資産合計	34,186	25,564
負債純資産合計	72,571	61,499

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	60,088	57,880
売上原価	43,564	39,359
売上総利益	16,523	18,520
販売費及び一般管理費	12,399	11,588
営業利益	4,124	6,931
営業外収益	414	457
営業外費用	1,251	1,098
経常利益	3,287	6,290
特別利益	133	215
特別損失	606	712
税金等調整前当期純利益	2,814	5,792
法人税等	1,058	1,224
少数株主損益調整前当期純利益	1,756	4,567
少数株主利益	41	84
当期純利益	1,715	4,483

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	1,756	4,567
その他の包括利益	△221	△1,886
その他有価証券評価差額金	2	△4
為替換算調整勘定	△214	△1,873
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△8
包括利益	1,534	2,681
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,493	2,628
少数株主に係る包括利益	41	53

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	642	1,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,492	△4,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,098	4,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△475
現金及び現金同等物の増加額	2,249	1,443
現金及び現金同等物の期首残高	7,310	5,867
現金及び現金同等物の期末残高	9,560	7,310

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローの状況

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益2,814百万円に、主として減価償却費2,825百万円等の資金を伴わない費用を加え、たな卸資産2,960百万円及び法人税等の支払額1,482百万円が増加したことにより、営業活動の結果得られた資金は642百万円(前期比1,190百万円減)となりました。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に中国生産設備投資により、投資活動の結果使用した資金は8,492百万円(前期比4,073百万円増)となりました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に短期借入れによる収入と公募による新株の発行により、財務活動の結果得られた資金は10,098百万円(前期比5,592百万円増)となりました。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,234	9,836	8,377	△ 86	27,362	210	△ 2,912	△ 2,701	903	25,564
当期変動額										
新株の発行	3,867	3,867			7,734					7,734
剰余金の配当			△ 499		△ 499					△ 499
当期純利益			1,715		1,715					1,715
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						2	△ 224	△ 222	△ 104	△ 326
当期変動額合計	3,867	3,867	1,215	—	8,949	2	△ 224	△ 222	△ 104	8,622
当期末残高	13,101	13,703	9,593	△ 86	36,311	212	△ 3,136	△ 2,923	799	34,186

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	131億134万6,010円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード: 6890)
決算期	3月31日
従業員数	210名

役員 (平成24年6月26日現在)

取締役		
代表取締役社長	山村	章
代表取締役副社長	山村	丈
代表取締役副社長	賀	賢漢
取締役	小松	輝寿
社外取締役	中塚	勝人
社外取締役	吉田	浩二
社外取締役	島田	忠男
監査役		
常勤社外監査役	宮田	賢一
社外監査役	井上	朗
社外監査役	片山	茂雄
社外監査役	福森	久美

事業所

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階
千葉工場	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4
会津工場	〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53

グローバルネットワーク

国内	株式会社フェローテックセラミックス(東京) アリオンテック株式会社(山形)
海外	杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市) 杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市) 杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市) 上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市) 上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市) 上海漢虹国際貿易有限公司(中国上海市) 寧夏銀和新能源科技有限公司(中国銀川市) 寧夏富樂徳石英材料有限公司(中国銀川市) 富樂徳科技發展(天津)有限公司(中国天津市) 香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港) 台湾飛羅得股份有限公司(台湾) Ferrotec Korea Co., Ltd. (韓国) Ferrotec Green Energy Korea Corporation(韓国) FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE LTD(シンガポール) Ferrotec(USA) Corporation(アメリカ) FT Material Solutions, Inc. (アメリカ) Ferrotec GmbH(ドイツ) Ferrotec Ltd.(イギリス) Ferrotec S.A.(スペイン) Ferrotec S.R.L.(イタリア) Ferrotec SARL(フランス) Ferrotec Nord Corporation(ロシア)

株式の状況

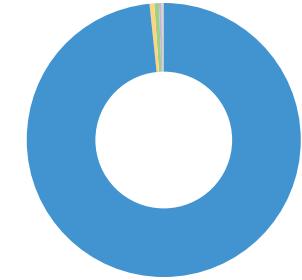
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	30,705,663株
株主数	25,417名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,325,500	4.33
山村 章	808,100	2.64
大阪証券金融株式会社	701,000	2.29
野村信託銀行株式会社(投信口)	560,200	1.83
MORGAN STANLEY & CO.LLC	474,000	1.55
JP MORGAN CHASE BANK 385181	470,200	1.54
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	441,050	1.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	412,800	1.35
三井造船株式会社	410,000	1.34

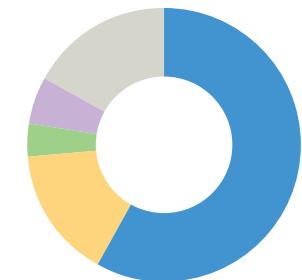
(注) 自己株式93,344株を除いた比率で表示しています。

所有者別株式分布状況



株主数 25,416名

個人その他	25,051名	98.56%
外国法人等	104名	0.41%
その他法人	197名	0.78%
証券会社	45名	0.18%
金融機関	19名	0.07%



株式数 30,612,319株

個人その他	17,811,977株	58.19%
外国法人等	4,727,489株	15.44%
その他法人	1,206,672株	3.94%
証券会社	1,707,440株	5.58%
金融機関	5,158,741株	16.85%

(注) 自己株式93,344株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。